

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和5年2月22日

事業所名: こども発達支援はるかの実

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		訓練室に機材物は置かず、必要なものはその都度出し入れするようにしたり、活動のグループ分けなどで対応。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		登園時の準備や活動の流れを視覚化し、自ら取り組めるよう心掛けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		午前、午後の活動終了時に壁や床、使ったものの消毒を行っている。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		月1回職員会議を開き、全職員で目標設定や振り返りを行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は行っていないが、今後検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		主にオンライン研修等に参加。	
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		一人ひとりの課題、原因、対応を話し合い、計画を作成。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを利用しているが、新しいツールも作成し、今後利用する予定。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに沿って項目を選択し、支援内容も細かく記入している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画の課題に合わせた支援を心掛けている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当、リーダーが中心になって立案し、内容を職員で確認し合い、プログラム作成を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		日替わりでプログラムは計画している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		活動内容やその日の利用児の状況を見て、個別活動も行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		リーダーを中心に支援内容を確認し、狙いや着目ポイントなど伝えている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎回終了時には反省・振り返りを行い、対応方法など確認している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回個人の支援記録を記入し、支援の検証、改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低半年に1回はモニタリングを実施し、見直しをしている。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児発管が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センター主催の研修に参加し、関係機関との情報交換や連携をとっている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				現在医療ケアが必要は子どもは不在だが、今後対応が必要であれば、他機関との連携を図っていく。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在医療ケアが必要は子どもは不在だが、今後対応が必要であれば、医療機関との連携を密に取っていく。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートを作成し、スムーズに就園、就学ができるようになっている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて会議を開き、情報共有している。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		外部から専門職を招き、助言を頂いている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		地域の福祉館で行れる子育てサロンに参加し、近隣の園や地域の子どもたちとも交流を図っている。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		自立支援協議会などには参加出来ていないので、来年度は開催の情報など得て参加していきたい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回写真や動画で活動内容を確認してもらい、連絡帳や送迎時等にて状況報告している。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		面談時や相談があったときに対応方法を提案している。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談があった場合はすぐに対応し、助言やこちらでできる支援などいくつか提供しながら対応している。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子療育に合わせて保護者同士の意見交換会を開いたが、来年度はもう少し話やすい議題や雰囲気作りの改善を図りたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月だよりを毎月発行し、ホームページでも定期的に活動内容の写真を載せている。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		来年度以降、地域住民を招待出来るような活動内容も検討していきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			来年度以降も年3回以上(内1回は消防立会)の訓練を計画する。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				現在対象者はおらず、給食提供もしていないが、保護者からの状況提供等あれば今後対応検討していく。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職員全員で意識付け出来るように、職員会議でも定期的にヒヤリハットの振り返りをしていく。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部の研修に参加し、それを踏まえて事業所内研修を実施している。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				現在対象者はいないが、契約時に各保護者に対して、身体拘束についての説明を行っている。新規の相談等あればきちんと対応していく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)